

木造阿弥陀如来坐像 1 軀

木造阿弥陀如来坐像

もくぞうあみだによらいざぞう

分野／部門

有形文化財／美術工芸品〔彫刻〕

所有者

宗教法人 一運寺(いちうんじ)

所在地

大阪市住吉区住吉 2-6-23

紹介



木造阿弥陀如来坐像(一運寺)

一運寺は住吉区住吉に所在する浄土宗寺院である。推古天皇 21 年(613)に聖徳太子が創建し、最澄・空海・法然など各宗の祖師が、住吉大社参詣の際に立ち寄る大寺院であったが、戦乱で衰退し寛永 8 年(1631)に再建されたという。本尊の阿弥陀如来像は本堂中央の須弥壇上にまつられる。像高 89.0 センチメートル、制作年代は 16 世紀にさかのぼる。市域に伝来する貴重な中世彫刻の一例である。